



2019年10月31日付

基準価額の推移



分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)	第4期 (2017年12月18日)	第5期 (2018年12月18日)
0円	0円	0円	0円	0円

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合があります。

ファンドのデータ

基準価額	15,843円
純資産総額	3,929百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「ザ・2020ビジョンの費用について」をご覧ください)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%(消費税込)です。

ポートフォリオの構成比(マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式	99.4%	1.4%
投資証券等	0.0%	±0%
現金等	0.6%	▲1.4%
構成銘柄	56社	▲1社

※投資証券等とはREIT(不動産投資信託)等、上場している株式以外の有価証券。

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
4.20%	4.16%	▲0.35%	8.52%	29.03%	37.51%	58.43%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

運用責任者メッセージ

10月の内外金融市場は、米中協議の部分合意や英国の合意無き離脱の回避に向けた動きから2ヵ月連続で世界的な株高となりました。また、欧米及び日本での金融緩和強化の姿勢継続も株式市場をサポートしました。世界の景気敏感株とも言われる日本株は、欧米の株式市場に比べても勢いがありました。当ファンドは+4.20%の上昇となりました。当月は、ベンチマークではありませんがTOPIX(東証一部株価指数; 配当込み)は+4.99%の上昇、日経平均株価は+5.38%の上昇、東証マザーズは▲0.23%の下落となりました。これで、年初からの10ヵ月で+26.18%の上昇となりました。(同期間のTOPIX配当込みは+14.21%の上昇、日経平均株価は+14.55%の上昇)。年初からの好調を維持しています。株式市場は徐々に温まってきました。チャンスを捉え、機敏な運用を続けて参ります。引き続き、当ファンドにご期待ください。



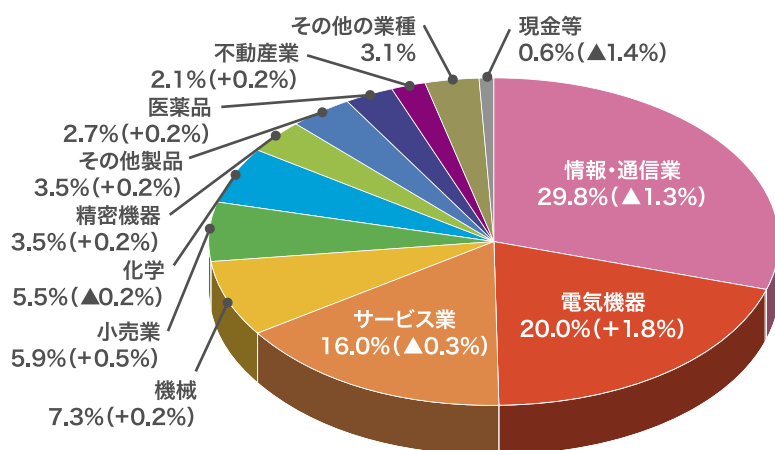
代表取締役社長
兼最高運用責任者 伊井 哲朗

市場概況

10月前半の日本株市場は、米国の対中投資制限への懸念や米国経済指標の悪化から軟調な始まりとなりましたが、11日に米中通商協議が農産品や為替などの特定分野について部分的合意に達したことや、11月15日に予定されていた米国の対中関税上げが延期されたことが好感されて急反発に転じました。後半は米企業の決算発表が本格化する中、市場予想を上回る好決算が相次いだことや、米中通商協議の進展で世界的に景気が回復するとの期待から日本株も上昇が続き、29日に日経平均は7営業日続伸で一時23,000円台を回復しました。30日に開催されたFOMCでは想定通りに0.25%の利下げとなりましたが、その後に発表された声明文で利下げ打ち止めが示唆されたことから日本株も利益確定売りに押され、月末の日経平均株価は前月比1,171円高(+5.38%)の22,927円で取引を終えました。

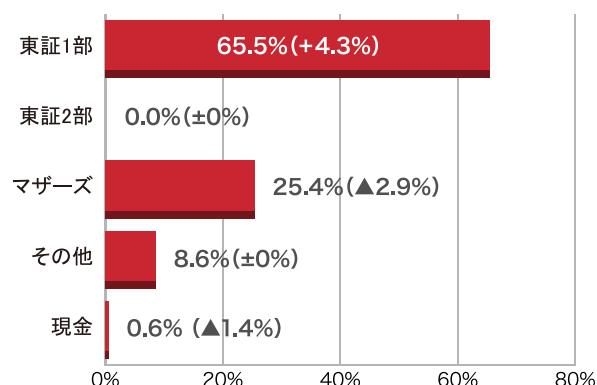
トレーディング部 瀧上 幸男

資産・業種別構成比 ()内は前月比

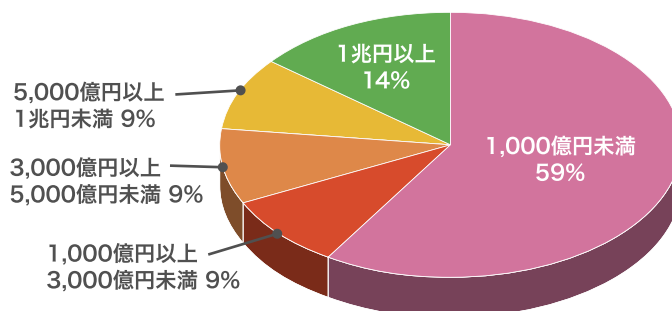


- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 時価総額別構成比については、構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を示しています。

市場別構成比 ()内は前月比



時価総額別構成比



運用状況

◎ファンドの月間リターンと主な投資行動

10月は、国内株式市場も当ファンドも上昇しました。組入上位10銘柄の中ではメイコーの20.75%を筆頭に、日本電産、リクルートHDなどの上昇が目立ちました。また、複数銘柄の入替も実施しています。当月は小型市場が低迷したため、当ファンドもやや影響を受けましたが、年初からの良好なパフォーマンスは維持しています。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

最高運用責任者 伊井 哲朗

組入上位10銘柄の紹介

(2019年10月31日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
ソニー		世界トップシェアを誇る半導体“CMOSイメージセンサー”を成長のけん引役に、ゲーム、映画、音楽、エレクトロニクス製品でシナジーを掘り起こし、持続的な高収益、新たな価値を提供し続ける企業を目指す。
電気機器	4.2%	
エムスリー		医療従事者向け情報サイトで製薬会社への情報提供支援事業、医薬の研究開発のe化を推進する治験事業を展開。MR君(医療情報提供サービス)の持続的な成長に加えて、治験のe化を推進する「治験君」が第2の成長エンジンへ。
サービス業	3.9%	
任天堂		据え置きゲーム機ハード、ソフトの総合大手。2017年に発売した新型据え置きゲーム機「Switch」およびソフトの販売が好調に推移。今後は有力新作ソフトの拡充に加えて、オンライン機能や「LABO」など新しいあそびの提案などに注目。
その他製品	3.5%	
リクルートホールディングス		会社設立以来、60年を超えて常に変化を続け新しい価値の創造を続ける。峰岸社長は、「企業文化以外は全て変えていく」と決めて同社の変化を推進。この10年でゼロに近かった海外売上高比率も50%を超える勢い。
サービス業	3.3%	
ワークマン		1982年設立。北関東のスーパーマーケットから分離した作業服専門チェーン。機能性があるのに、徹底的に安いのが特徴。従来、運送業や設備工事業、土木業などに従事する人たちが購買の中心だったが、SNSや口コミで支持され、一般消費者への購買も広がってきている。需要予測システムやトレンド分析の活用などで売れ残りを減らす施策も展開。
小売業	2.8%	
日本電産		モータの開発・製造・販売が事業の中心。中期戦略目標「Vision2020」で掲げる2020年度売上高2兆円、営業利益率15%以上、株主資本利益率18%以上の目標達成に向けて、4月1日付で吉本新社長が就任し経営体制の一層の強化を図る。創業者である永守氏は、会長兼CEOとして引き続きグループを牽引。
電気機器	2.8%	
ラクスル		ネット上で完結する印刷・広告プラットフォーム「ラクスル」を運営。大企業中心に垂直統合で形成された産業をインターネット・シェアリングにより水平分業化することで、日本全体の生産性向上に取り組む。長期的なプラットフォーム価値の最大化を目指した成長投資の効果に期待。
情報・通信業	2.8%	
ペプチドリーム		2006年7月に設立された独自技術である特殊ペプチドで新薬候補創製の事業に特化する創業ベンチャー。従来の低分子化合物や抗体医薬品では難しい疾患標的に強力に作用する革新的な新薬を生み出す可能性を秘める。
医薬品	2.7%	
メイコー		プリント配線板製造大手。最悪期を脱し、構造改革のステージを経て成長ステージへ突入。主軸の車載用、スマホ用ともに増勢基調。車載用は自動運転、電動化の普及拡大により需要は旺盛。スマホ用は中国、韓国向けに強み。需要拡大に伴い設備投資も活発化。
電気機器	2.5%	
ジャパンエレベーターサービスホールディングス		エレベータの保守・リニューアルを手がける。対象市場は国内に稼動する約100万台のエレベータ。その約8割を設置したメーカー系保守会社が、残り2割を同社などの独立系がメンテナンスを請け負う。エレベータの老朽化が進むなか市場が堅調に拡大。価格設定を含めたコスト競争力、リモートメンテなどを備えた技術力、東証上場によるブランド認知向上、などを強みにシェア向上を図る。
サービス業	2.5%	

● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。 ● 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

2025年への備え

1か月以上にわたる盛り上がりを見せたラグビーのW杯が幕を閉じました。ホスト国としてのおもてなしを称賛する海外からの声も多く聞かれ、日本の魅力を発信する良い機会にもなったのではないかと思います。そして、これを起点として来年の東京オリンピック、2025年の大阪万博と国際的イベントは続いていくわけですが、この一連のイベントが終わる2025年というのは日本にとって非常に重要なターニングポイントになると考えています。まず、これらイベントの直接的な影響として、海外からのインバウンド旅行客の質の変化が期待されます。インバウンドというと、これまでは中国、韓国、台湾など東アジアからの旅行客による「爆買い」のイメージが強かったのに対して、今回のW杯では欧州やオセアニア等の国々から、多くの人々が初めて日本を訪れ、観光・飲食を中心に楽しみました。オリンピックや万博ではさらに多様な国々から旅行客が訪れることが予想されますので、そうした人々に「また日本にきたい」と思ってもらえるようなソフト・ハード両面の準備ができるかどうか、その先の観光立国実現に向けた試金石になりそうです。また、日本の人口動態について言えば、1947～49年生まれの団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者になります。日本の人口の4人に1人が後期高齢者になると言われており、医療や介護に注目が集まるのは当然として、健康寿命を延ばすことに資するような娯楽・サービスや、空き家対策ということで中古住宅のリノベーションなどもより重要性を増すでしょうし、実際にこの2025年をターゲットとして今から体制構築等を進めているという企業も見受けられます。さらに、テクノロジーの観点では、独SAP社のSAP ERPというビジネスソフトウェアが保守サポートを終了します。SAP ERPは、日本でも大手企業を中心に2,000社以上が基幹システムとして導入していますが、保守サポート終了といっても当然のことながら後継の新製品がありますので、そちらへ移行すれば済む話ではあります。一方で、このタイミングを捉えて働き方改革なども見据えた抜本的なシステム変革に乗り出している企業もあり、どのような準備をするかでその後の企業の競争力に大きな差が付くことも考えられます。以上、3つの切り口から見てきましたが、共通して言えることは、予見される変化に対して今からどんな準備をしておくかが重要になる、ということです。変化は成長のチャンスでもありますので、ここで積極的に先を見据えた打ち手を講じることのできる企業を評価していきたいと考えています。



アナリスト 原嶋 亮介

コモンズPOINTからのお知らせ

【POINTで日本知的障害者水泳連盟を応援】

～みんなの水泳の絵 絵画展へのお誘い～

11月10日(日)高知県くろしおアリーナにて、「第22回日本知的障害者選手権水泳競技大会」が開催されます。

昨年も共催させていただいた「みんなの水泳の絵」絵画展。

今年は、コモンズPOINTの寄付金が活用されます。

＊昨年の様子↓

<https://park.common30.jp/2018/11/point.html>



2020年のオリンピック・パラリンピックを控え、選手の水泳への熱も盛り上がっています。

「みんなの水泳の絵2019」には、18名の選手から応募がありました。

元気で熱い想いがつまった作品を、どうぞ会場にてご覧ください。

＊写真は、全作品と、連盟、コモンズ投信の想いが紹介されたリーフレット。

絵画展会場にてご来場者にお配りします。

コモンズPOINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。 <https://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名		日付	時間	場所
コモンズ投信10周年感謝の集い	【札幌】	11月17日(日)	13:00～15:30	北濃会館(北海道札幌市)
	【名古屋】	12月15日(日)	13:00～15:30	オフィスパーク名駅花車デザイン会議室 (愛知県名古屋市)
【宇都宮開催】世界の成長を取り込む！ 未来を信じる力を育むコモンズ流投資術	【宇都宮】	11月9日(土)	10:00～11:30	宇都宮市文化会館 研修室 (栃木県宇都宮市)
はじめてのコモンズ(ファンド説明会)		11月13日(水)	18:30～20:00	コモンズオフィス(東京都千代田区)
	【お子様連れ歓迎】	11月14日(木)	13:30～15:00	
		11月20日(水)	18:30～20:00	
	【お子様連れ歓迎】	11月26日(火)	13:30～15:00	
NISA・iDeCo 活用セミナー ～コモンズ30ファンドで長期つみたて資産形成～	【池袋】	11月12日(火)	18:45～20:15	貸会議室マイ・スペース&BB 池袋西武横店(東京都豊島区)
コモンズ30塾「サステナビリティレポートを読み解く」 コモンズ30ファンド投資先企業「ダイキン工業」をお迎えして		11月26日(火)	19:00～21:00	21Cクラブ(東京都千代田区)
【ライブ配信WEBセミナー】 ぱふーむの長期投資道”あることないこと”(仮称)		毎月第1、 第3木曜日	12:30～12:50	お好きな場所で！
【寄付月間2019公式認定企画】 こどもトラストセミナー「論語と算盤」と「寄付の教室」		12月1日(日)	10:00～13:00	ウィズダムアカデミー目白校 (東京都世田谷区)
【寄付月間2019公式認定企画】 コモンズ投信・渋澤健xジャーナリスト・堀潤 対談 ～私たちに何ができる？皆で考えるはじめてのSDGs～		12月2日(月)	19:00～21:30	朝日新聞社・読者ホール (東京都中央区)

「贈る喜び&つみたてキャンペーン」のお知らせ

年末年始恒例の贈る喜び&つみたてキャンペーン、11月11日(月)スタート！詳細はコモンズ投信ウェブサイトをご覧ください。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしく お願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第32号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○			

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。
	(委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター (受付時間／平日 午前9時～午後5時) 03-3221-8730	■ウェブサイト https://www.common30.jp/
	◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階	